

2025 年 5 月 29 日
西日本旅客鉄道株式会社
比叡山鉄道株式会社
江若交通株式会社
京阪バス株式会社
京都バス株式会社
(一社) 比叡山・びわ湖 DMO

「(ICOCA で GO) 比叡山おでかけパス」を 「KANSAI MaaS」にて発売いたします！

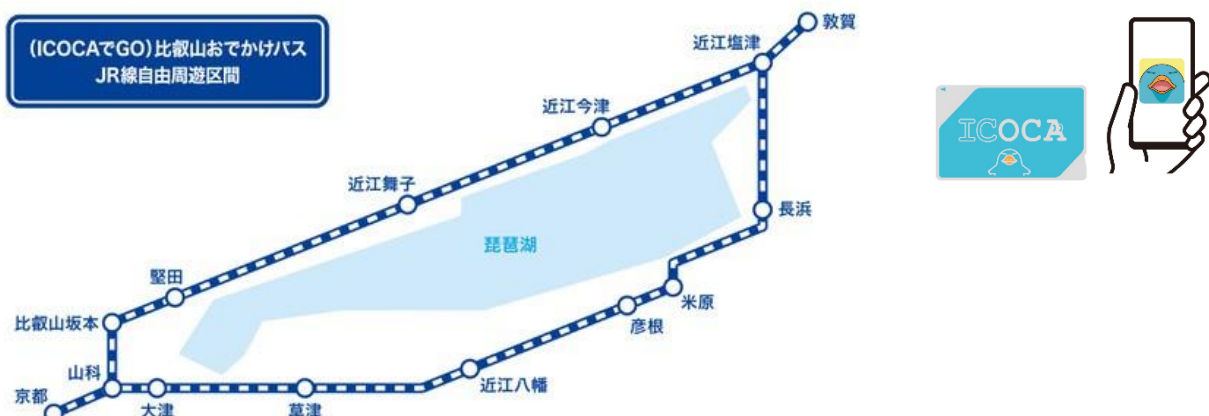
西日本旅客鉄道株式会社（以下、「JR 西日本」）、比叡山鉄道株式会社（以下、「比叡山鉄道」）、江若交通株式会社（以下、「江若交通」）、京阪バス株式会社（以下、「京阪バス」）、京都バス株式会社（以下、「京都バス」）、一般社団法人比叡山・びわ湖 DMO では、滋賀県観光キャンペーン「いこうぜ♪滋賀・びわ湖」特別企画として、滋賀県内の周遊と比叡山延暦寺までおでかけいただける「(ICOCA で GO) 比叡山おでかけパス」を発売いたします。

JR 線自由周遊区間のご利用と「江若交通（比叡山坂本～ケーブル坂本）1 往復券」、「比叡山鉄道（ケーブル坂本～ケーブル延暦寺）1 往復券」、「比叡山内シャトルバス 1 日乗車券」がセットになったおトクなパスを広域型 MaaS アプリ「KANSAI MaaS」にて発売いたします。

ぜひ「(ICOCA で GO) 比叡山おでかけパス」をご利用いただき、世界遺産・比叡山延暦寺におでかけください。

- (1) 発売期間：2025 年 6 月 2 日(月)～2025 年 10 月 31 日(金)
※ご利用日の 1 か月前の 10 時から利用開始日当日 12 時まで発売（発売期間内に限る）
- (2) 利用期間：2025 年 6 月 2 日(月)～2025 年 10 月 31 日(金)の指定した 1 日のみ有効
- (3) 価 格：おとな 3,300 円（1 名様あたり、税込）※こども用の設定はありません。
- (4) 商品概要：以下の 4 つがセットになった商品です。
 - ① JR 線自由周遊区間のご利用
 - ② 江若交通（比叡山坂本～ケーブル坂本）
 - ③ 比叡山鉄道（ケーブル坂本～ケーブル延暦寺）
 - ④ 比叡山内シャトルバス 1 日乗車券

- ① JR 線自由周遊区間 ※お支払いいただいた運賃は、翌月末に全額 WESTER ポイント（チャージ専用）で還元します



・JR 線のご利用には、事前に「KANSAI MaaS」に登録した ICOCA（「SMART ICOCA」、「モバイル ICOCA／Apple Pay の ICOCA」含む）が必要となります。併せて、ご利用前に JR 西日本の券売機などで WESTER ポイント（チャージ専用）サービスの利用登録の完了も必要です。

・JR 線をご利用の際は登録済みの ICOCA に事前にチャージいただき、自動改札機をお通りください。ご利用ごとに自動改札機にて ICOCA から運賃をお支払いいただきます。

・ご利用月の翌月末に、JR 線自由周遊区間内を ICOCA で利用した運賃を WESTER ポイント（チャージ専用）でお返しします。

※「ICOCA」「モバイル ICOCA」は西日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

※Apple. Apple Pay は Apple Inc.の登録商標です。

② 江若交通（比叡山坂本～ケーブル坂本）1 往復券



▲江若交通

③ 比叡山鉄道（ケーブル坂本～ケーブル延暦寺）1 往復券



▲比叡山鉄道

④ 比叡山内シャトルバス 1 日乗車券



▲比叡山内シャトルバス

(5) ご利用方法：

- ・「KANSAI MaaS」でのみ発売（アプリまたは WEB）します。
- ・購入には「KANSAI MaaS」の会員登録、クレジットカードでのお支払いが必要です。
- ・購入の際は「KANSAI MaaS」紹介サイトをご確認ください。

<https://www.kansai-maas.jp/lp/>

※駅の券売機 ・みどりの窓口で発売はございません。

KANSAI MaaS



(参考)

【「KANSAI MaaS」とは】

国内初の鉄道事業者連携による広域型 MaaS アプリで、関西に主要路線を持つ鉄道 7 社（大阪市高速電気軌道株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、南海電気鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、阪急電鉄株式会社、阪神電気鉄道株式会社）を運営主体とする「関西 MaaS 協議会」が提供しています。

主に関西地域におけるマルチモーダルでの乗換経路検索、電子チケットサービス、レジャー・宿泊施設・モデルコース等の観光関連情報の各サービスに加え、駅構内図や列車走行位置情報への連携など鉄道 7 社ならではの情報サービスも併せてワンストップで提供しており、スマートフォンでご利用いただけます。



<アプリのダウンロードはこちら>

今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 11 番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

